

福島第一原発事故で全村避難となった福島県飯舘村の中学生18名が、今年8月8日から1週間、義援金を活用した「未来への翼」プロジェクト事業で、南西ドイツを訪問。フライムト村では、風力発電施設などを見学した(70ページ) 写真=高野祥一

特集
いまこそ農村力発電



コミュニティ・エネルギーで地域の自立

コミュニティによる小さな再生可能エネルギーの生産は、日本でも以前から行なわれてきたことだった。中国地方では1945～67年にかけて、農協を中心に94カ所の小水力発電所が建設され、うち54カ所は、今も現役で稼働している。なかには取水口のゴミ掃除や発電量の点検など、管理作業を地元住民が請け負うことで、年金+「あと数万円」の仕事を生みだし、利益を還元する発電所もある。